

134-1 江戸を見つけに市谷亀岡八幡から河田町寺町へ(6.0km)

二十騎町、箆笥町などの地名が残り、坂道が多くある市谷亀岡八幡から河田町寺町辺りを歩いて江戸を見つける。

【道順】

市ヶ谷駅→市ヶ谷見附→亀岡八幡宮→佐内坂→定火消屋敷跡→長延寺坂→浄瑠璃寺坂→浄瑠璃寺の仇討跡→中根坂→二十騎町→近藤勇・試衛館跡→焼餅坂→河田町寺町→念仏坂→安養寺→新坂→(四ツ谷三丁目)→小泉八雲旧居跡(新宿区富久町7-30 成女学園)→自証院→西向天神→抜弁天→島崎藤村旧居跡(新宿区歌舞伎町2-4)→鬼王神社→小泉八雲終焉の地(新宿区大久保1-1-17)→コリアンタウン→新大久保駅(16:00)

ルートマップ



【街歩き解説】

亀岡八幡宮：

太田道灌が奉納した軍配団扇、新宿区内では唯一の銅鳥居、茶釜塚、お百度参りの百度

石や力石の他、句碑・名刀碑等がある。

市谷左内坂定火消屋敷跡と左内坂：

定火消は、明暦の大火（1657）の翌年、万治元年（1658年）に幕府直轄の火消として、4000石以上の旗本4名を選び、それぞれに与力6名・同心30名を付属させて設けられた。その後、15組が江戸城を取りまくように配置されたが、宝永元年（1704）以降は10組の編成となり、十人屋敷や十人火消などとも呼ばれた。

佐内坂は、江戸時代初期に周辺の土地と共に開発したもので、開発者の名主島田左内に因み左内坂と呼ばれるようになった。島田左内はその後、明治時代まで名主を務めた。坂の途中に佐内町の案内表示が見られ、この東側が定火消し屋敷があった所である。

浄瑠璃寺の仇討跡：

新宿区市谷砂土原町の浄瑠璃坂は、伊賀越の仇討ち・赤穂浪士の討ち入りに並ぶ江戸三大仇討ちとして評判となった浄瑠璃坂の仇討ちのあった場所で、坂の上には説明書きがある。

1668（寛文8）年に下野の興禅寺で、宇都宮前藩主・奥平忠昌の法要がおこなわれた時、文治派の奥平内蔵允（黒屋家）が度重なる侮辱に耐えかねて、武断派の奥平隼人（中金家）に刃傷に及んだものの、文治派・内蔵允は逆の大怪我をしたという。

その場を兵藤玄蕃が鎮めたが、その夜に内蔵允は切腹したので、藩庁へは刀傷による「破傷風」と報告し、兵藤玄蕃は藩主・奥平昌能に両成敗を進言したらしい…一方で閉門を命じられた隼人は、切腹を覚悟していたが、父の奥平半斎がこれを受け入れずに、宇都宮藩主・奥平昌能は、奥平隼人には改易、奥平内蔵允の嫡子・源八（12歳）と内蔵允の従弟・伝蔵正長には家禄没収の上、追放を申し渡したので、隼人ら親子は江戸の旗本・大久保助右衛門の屋敷に身を寄せたという。

筆筒町：

「筆筒」と聞くと、引き出しのある「タンス」を思い浮かべるが、この、筆筒町の「筆筒」は、“家具”ではなく、“武器”に関係するもの。江戸時代、筆筒町の辺りには、幕府の武器をつかさどる具足奉行・弓矢鍵奉行組同心の拝領屋敷があった。幕府の武器を総称して、「筆筒」と呼んだことから、正徳3年（1713）年、町奉行支配となった際に、辺りは牛込御筆筒町となった。その後、冠称の「牛込」がとれ、現在の筆筒町となった。

江戸時代には、この区域のほとんどは、武家地によって占められており、町名にも武家地であったことに由来するものがみうけられる。納戸町、払方町、細工町などは、筆筒町と同様に、居住していた武士（同心）の役職名に由来して命名されたものである。

納戸役は、将軍の手もとにある金銀・衣服・調度品の出納や大名旗下の献上品・将軍の下賜品を取り扱っていたもので、その内の下賜品を取り扱ったのが払方である。御細工は江

戸城内建物・道具の修理・製作にあっていた。

二十騎町：

二十騎町は、先手与力の屋敷地であったことに由来している。1組10人で構成される先手与力が、2組20人居住していたことから、二十騎町と俗称され、現在の二十騎町となった。辺りには、ほかにも揚場町・白銀町・横寺町・袋町・岩戸町など、江戸時代から受け継がれている町名が比較的多くみらる。

近藤勇・試衛館跡：

試衛館跡は、天然理心流の近藤勇が道場主をつとめた剣術道場。ここに土方歳三、沖田総司、井上源三郎ら、のちの新選組の中核となるメンバーが集い、切磋琢磨して剣の腕を鍛えた。天然理心流の創始者は、近藤内蔵之助という遠江国出身の剣客で、江戸に出て剣術道場を開いた。以後代々、跡継ぎにふさわしい弟子を養子にするなどして、道場主は近藤姓が続いた。

市谷柳町に試衛館を開設した天然理心流3代目・近藤周助もまた、多摩の農家出身の宮川勝五郎の腕と人柄を気に入り、勝五郎は周助の跡をついで4代目を襲名し、宮川勝五郎から近藤勇へ名を変えるのである。

試衛館の道場主となった近藤勇のもとには、土方歳三、沖田総司、山南敬助らが入門し、永倉新八や藤堂平助らの食客と言われるメンバーもここに集った。こうして、幕末の世にその名をとどろかせた新選組は、市谷のこの地で産声をあげた。

***+ オフィス 地図豆 Yamaoka mitsuharu ***+